



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

6県(長崎県、佐賀県、福岡県、山口県、島根県、鳥取県)でケンサキイカ(地方名:マイカ、シロイカ)の情報(各地の漁況と底層水温)を共同発行しましたので、お知らせします。

I. 6月のイカ釣り漁況

①各県の主要漁港における6月の水揚量について(平年は直近の過去5年平均)。

鳥取県	集計システム不具合のため未集計でした(次回号で6月分も報告予定です)。
島根県	主要漁港の水揚量は、前年並みで、平年を下回りました(前年比92%、平年比59%)。
山口県	代表2地区の水揚量は、前年、平年を下回りました(前年比83%、平年比90%)。
福岡県	代表港の水揚量は、前年、平年を上回りました(前年比120%、平年比121%)。
佐賀県	標本漁港の水揚量は、前年並みで、平年を下回りました(前年比106%、平年比88%)。
長崎県	標本漁協の水揚量は、前年並みで、平年を下回りました(前年比91%、平年比70%)。

※前年・平年比の評価は、90%以下では「下回る」、91%から109%では「並み」、110%以上では「上回る」としています。

②各県の「1日1隻当たりの漁獲量(CPUE)の月別動向」と「6月の漁獲サイズ」について

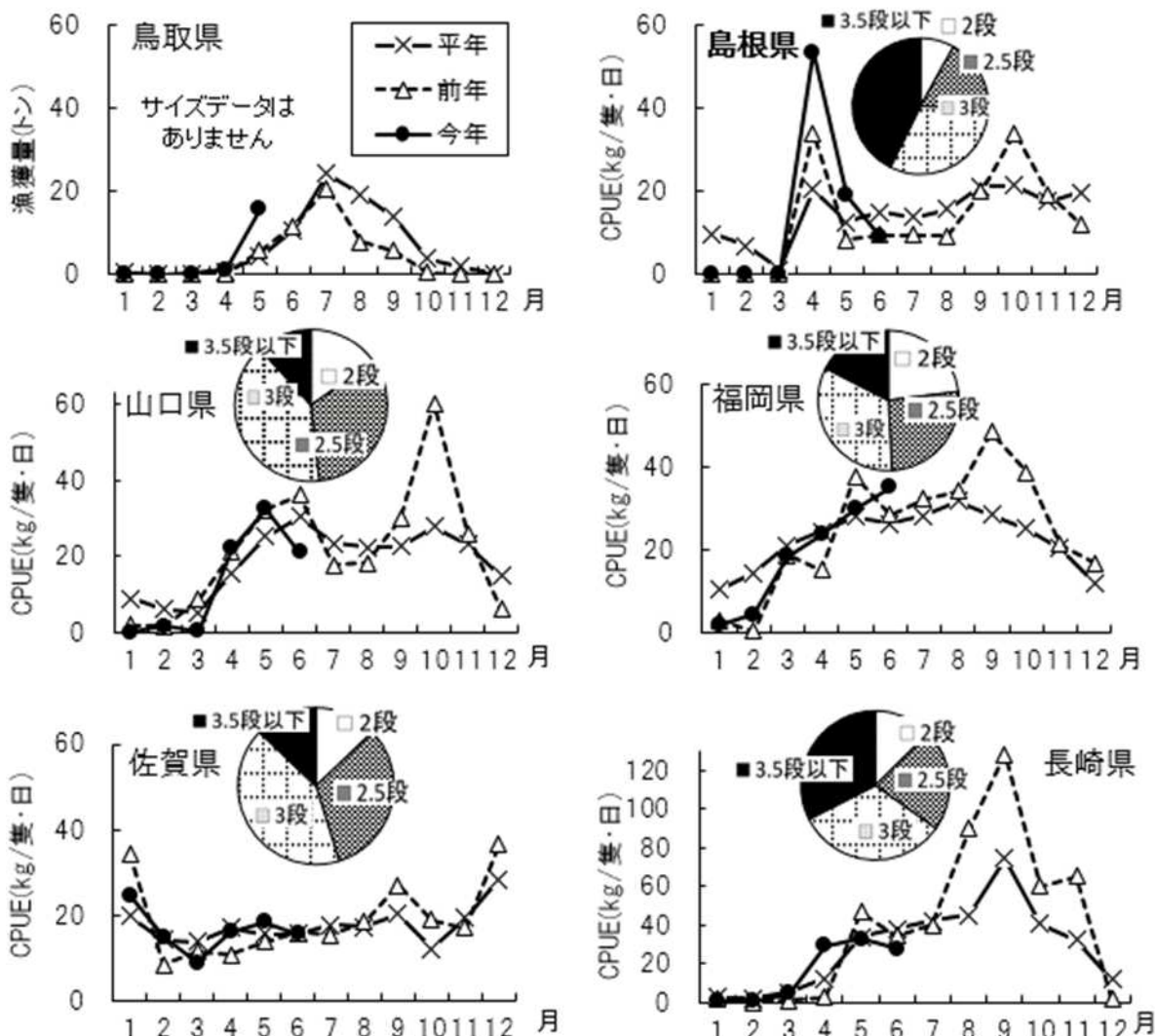


図1 各県のCPUE(折れ線グラフ)および漁獲サイズの割合(円グラフ)

※鳥取県のみ漁獲量で表示

Ⅱ. 7月上旬の底層水温

鳥取県	7月の水温データはありません。
島根県	7月の水温データはありません。
山口県	陸棚上（水深61～137m）の底層水温は3.5～22.0℃でした。（※7月21～22日観測）
福岡県	沿岸の底層水温は22.3～23.7℃台でかなり高め、沖合の底層水温は16.7～18.5℃で、やや高めでした。
佐賀県	壱岐水道の底層水温は22.5～23.7℃、対馬東水道は15.5～22.2℃で、平年値と比べ-0.3～+2.0℃でした。
長崎県	五島西沖の底層水温は15～19℃台で推移しました。

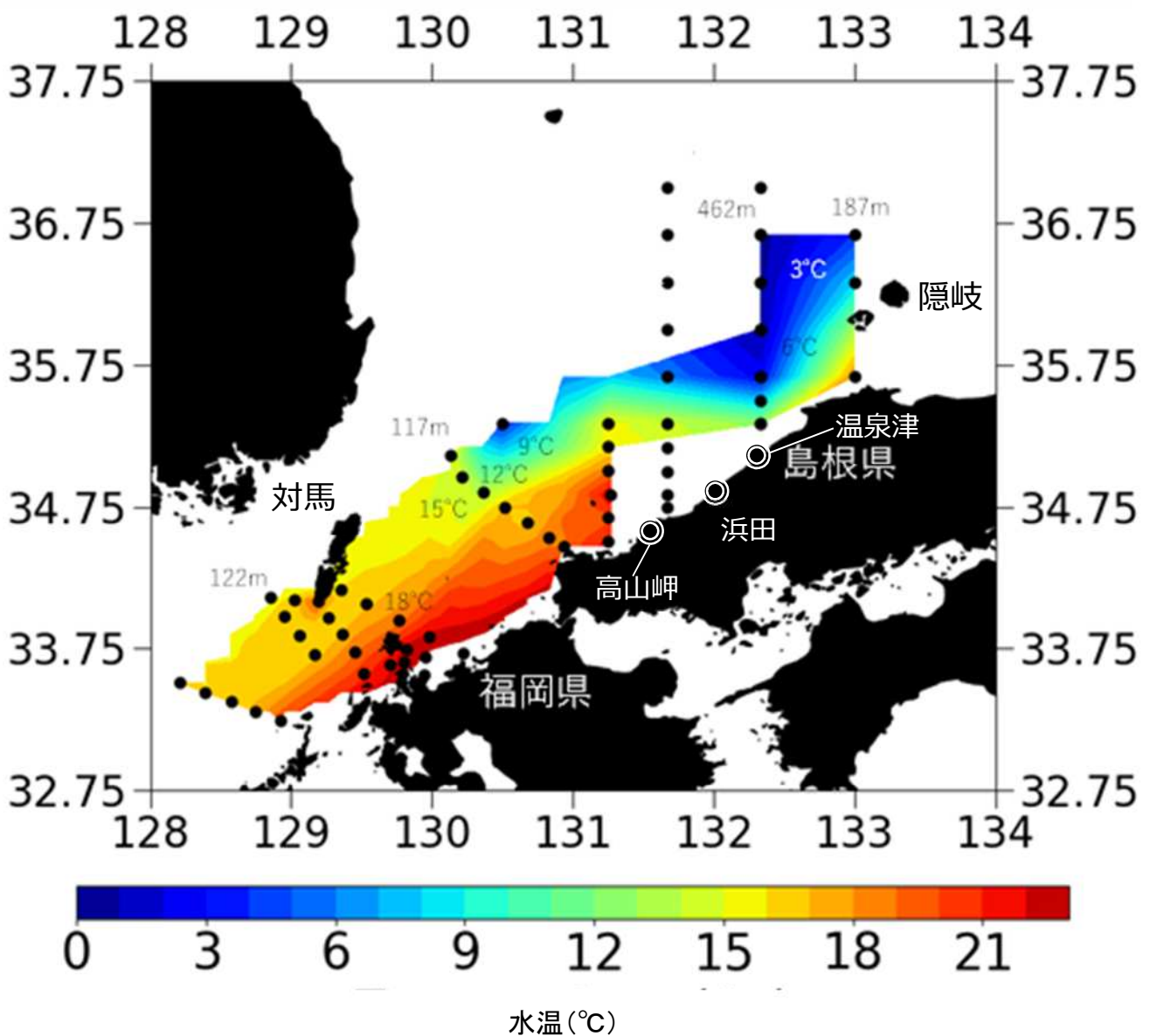


図2 長崎県～鳥取県の沿岸域・沖合域における底層の水温分布図

図中の黒丸（●）は観測点を、数字は水温もしくは水深を示しています。

※モノクロ印刷の場合、水温帯の色の識別が困難ですので、ホームページでカラー版をご覧ください。